

## 2014(平成26)年度 学校関係者評価報告書

星翔高等学校

2014(平成26)年度の教職員による学校自己評価に基づき、学校関係者評価委員の方々から評価と提言をいただきましたので報告いたします。

〔学校関係者評価委員会〕

委員会は保護者会会長・同窓会会長・学校教職員 OB・学園評議員・学園職員の5名で構成されています。

分類	学校関係者評価委員の評価と提言
学 校 運 営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流については特定の行事のみの参加しかできていないように思われる。学校行事に門戸を広げ本校の存在を地域に知ってもらうことが大切と感じる。</li> <li>・教員側からは教員連携が取れているといった評価であるが、外部評価としてはまだまだ教員間の情報交換がなされていないと感じることが多々ある。</li> <li>・広報の不足が感じられる。「星翔高校」は知名度が低い。「浪速工業高校」だとすぐに理解してもらえる。</li> <li>・全体的には良好である。教職員の連携をもっと密にして、誰から聞いても同じ回答が出るように努力して欲しい。</li> <li>・財務関係について理解が低いように思う。教員は授業第一と考えているようだが、今や財務状況の高次の理解は必要不可欠で有り、学校危機管理の一つのデータとして捉え、「挙校態勢」で臨む心意気が必要であろう。</li> <li>・教員と事務職との連携には、仕事の振り分けを明確にすべきである。</li> <li>・HPでリアルタイムの学校情報発信ができるように努力して欲しい。</li> <li>・自己評価での理解度が低い項目はもっと対策を進めるべきだ。</li> <li>・教職員に学校財務を理解させ、周知させる方策を考えることが必要だ。</li> </ul>
教 育 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ活動は非常に頑張っているが、応援が伴っていない。保護者、生徒に試合日程を知らせるなどして応援できる環境を構築すべきだ。</li> <li>・体育大会・星翔祭など、担任と一緒に参加する姿はほほえましい。全クラスでの盛り上げがあれば更に良いと考える。</li> <li>・テーマを提示し、自ら考えさせるような教育を望む。</li> <li>・部活動、学校行事への取り組みは熱心であり、頼もしい。</li> <li>・ボランティア活動、国際理解への関心の醸成はおろそかにできないと思う。</li> <li>・基礎学力の充実を図り、さらなるステップアップを望む。</li> <li>・人権教育、キャリア教育はかなり成果が出ているようだ。今後も成果を上げてもらいたい。</li> </ul>
生 徒 指 導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導に十分な取り組みがなされている。個々の補習にも力を入れている。</li> <li>・進学後の大学の授業について行けるように、レベルアップが望まれる。</li> <li>・生徒指導面では厳しさは必要である。しかし、愛情ある指導は不可欠である。</li> <li>・入学から卒業まで、十分な配慮を持った指導を願う。</li> <li>・一部の生徒が指導に従わずに評価を下げているように思われる。指導体制の強化が必要ではないか。</li> <li>・カウンセリング体制の充実が望まれる。</li> </ul>

教資 員質 研向 修上	<ul style="list-style-type: none"><li>・校内外での研修への評価はできるが、情報共有や発表の場を作り、改善策に取り組む必要がある。</li><li>・教職員の資質に差があるが、全体的なスキルアップが急務である。</li><li>・学年間、教科間の連携を図り、共通理解を深めることを望む。</li></ul>
----------------------	---

以上